

地域の方にも見ていただき  
ました。また、学習発表会  
会場に並べ、披露しました。

【日野中学校】

●人権弁論大会

毎年、10月下旬に学級ご  
とで弁論発表を行っていま  
す。日ごろ生徒たちが感じ

ていることや、弁論作成に  
あたって自分と向き合っ  
て考えたことなどをテーマに  
発表をしています。一人一  
人の発表の後、それによっ  
てどのように感じたか、ど  
のような思いを持ったかな  
どを出し合い、人権につい  
ての考えを深めるようにし  
ています。人権弁論の取り  
組みは、生徒自身が人権に  
ついて考えるだけでなく、  
学級での人間関係を深める  
ことができる良い機会に  
なっています。なお、本校  
文化祭では、学級の代表に  
選ばれた生徒が発表を行っ  
ています。さらに、今年は、  
町の人権・同和教育研究集  
会でも発表しました。

●文化祭での学級人権劇

毎年、学年ごとに脚本を  
選び、人権をテーマにした  
演劇を行っています。友達  
や家族のきずなをテーマに  
したものや、いじめなど周

りとかかわり方を考える  
ものなどが選ばれることが  
多いです。今年の3年生は  
結婚差別をテーマにした脚  
本で演劇を行い、部落差別  
について深く考える機会と  
なりました。

●人権教育参観日

毎年11月に行っていま  
す。今年は、26日に土曜  
授業の一環として行いまし  
た。一限目は各学級でそれ  
ぞれのテーマを設定し学習  
を行い、二限と三限目では  
講演会を開きました。

【ひのっこ保育所】

ひのっこ保育所では、日ご  
ろから園児たちに「命を大切  
に」ということを話していま  
す。自分の命はもちろんのこ  
と、「自分以外の人たちの  
命や動植物など、地球上に  
存在するすべての命を大切  
にする」といった基本理念  
に基づいて日々の保育活動  
に取り組んでいます。

そして、人権を踏みにし  
る最大の行為である戦争に  
ついて考えるため、毎年8  
月の広島・長崎の原爆投下  
日と平和記念日に合わせ  
て、子どもたちに戦争の悲  
惨さを写真などを使って伝  
えています。

幼い子どもたちに戦争の  
話をしてどれだけ理解して  
もらえるだろうかといった  
意見もありますが、子ども  
たちは真剣に耳を傾け、家  
庭でもその話をし、戦争は  
絶対にいけないと口にして  
くれます。

「戦争」といつても自分  
のこととしてとらえること  
は難しいので、戦争をしな  
い・させない人間になるた  
めに、今の自分ができるこ  
ととして、「みんなと仲良  
くする」「けんかをしない」  
「命を大切にしよう」といっ  
たことを機会があるごとに  
話しています。

また、先般テレビでも放  
送されましたが、熊本県食  
肉センターの元職員の話  
を基にした、絵本「いのちを  
いたたく」を使って、命の  
大切さを伝える人権学習の  
機会を設けたいと考えてい  
ます。

【日野高校】

本校では、生徒の自尊心  
情や自己肯定感を高めるこ  
とを目的としたWYSH教育  
を含め、広く人権につい  
て学ぶ教育を行っています。

●4月：1、2年生対象「仲

間づくり」に関するLHR

●5月：3年生対象「就職  
差別」に関するLHR

●6月：3年生対象「人権  
教育講演会」、演題：「出会  
いから学ぶ」結婚差別につ  
いて、講師：高田美樹さん



高田さんへ思いを語る生徒

●7月：全校生徒対象「性  
教育講演会」、演題：「心の  
笑顔〜心から笑顔になっ  
ていますか〜」、講師：三島  
道秀さん

●9月：1年生対象「障がい  
者の人権」に関するLHR  
2年生対象「あいサポート」  
に関するLHR

各学年対象「デートDV予防  
学習会」、ファシリテーター：  
藤田栄子さん、服部久美子さ  
ん、竺原晶子さん  
10月：3年生対象「命の大  
切さを学ぶ教室」、演題：命



さまざまな人権について学ぶ機会を  
設けました。(デートDV予防学習会)

の大切さを考える〜子ども  
たちを被害者にも加害者に  
もならないために〜」、講師：  
市原千代子さん

11月：1年生対象「ユニ  
バーサルデザイン出前授  
業」、演題：「ユニバーサル  
デザインを考える」すべて  
の人にやさしさを（気づ  
き・考察・体験・思いやり）、  
講師：石田重幸さん

2年生対象「労働者の権利」  
に関するLHR  
全校生徒対象「人権教育LH  
R公開授業」

1年生「身近な差別と人権」  
2年生「性感染症とその予防」  
日野高のWYSH教育〜かけ  
がえのないあなた〜  
3年生「結婚差別について」  
●1月予定：全校生徒対象  
「人権教育講演会」

## 農地パトロールを実施しました。

農業委員会 会長 長住 武美

11月7日、農業委員会では毎年恒例の農地パトロールを実施しました。本年の農地パトロールは農業委員会制度改正後、初めてのパトロールです。制度改正後設置された農地利用最適化推進委員も今年から農業委員と一緒に現地を確認することになりました。また、今年は山口副町長にも同行していただきました。

今年、津地、本郷、黒坂、近江、布瀬谷の5地区をパトロールしました。耕作したくても周辺環境が悪く耕作が困難な農地、耕作する人が見つ



地域に点在する耕作放棄地



耕作放棄地対策について現地で協議

からず放置されてしまった農地がありました。中山間地域での農業を取り巻く現状は年々、厳しくなっており、農業従事者の高齢化、過疎化など問題が山積しています。今後、集落間の話し合いや、我々、農業委員、農地利用最適化推進委員の担う役割はますます重要になっていきます。

今後、地権者の意向を聞いた上で適切な農地利用をしていきたいと思えます。担い手の育成・採算コスト・販売ルートについても前向きに考えていかななくてはなりません。

## 農地の困りごとがありましたら気軽にご相談ください。

- ・ 田んぼを作ることができなくなった。誰か作ってくれる人はいないだろうか？
- ・ 田んぼを宅地に変えて家を建てたい。手続きはどうしたらよいだろうか？
- ・ 田んぼの貸し借りのことについて、詳しく知りたい。 など、お気軽にご相談ください。

【農業委員】 ▼根雨地区・日野地区担当：長住武美、山吹長年、松本洋一

▼黒坂地区担当：頭本佳苗、高田昭徳

【農地利用最適化推進委員】 ▼根雨地区担当：若林順也 ▼日野地区担当：松本昌明 ▼黒坂地区担当：谷口 勇

【問合せ先】 農業委員会事務局（電話 72-2103）

## 農地中間管理事業を活用しましょう。

地域ぐるみの話し合いを通じて、公益財団法人 鳥取県農業農村担い手育成機構が、農地の貸し借りの間に入る農地中間管理事業を実施しています。

利用した場合、機構集積協力金などが受けられる場合があります。

詳しくは、農業委員会事務局までお問い合わせください。

